

令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 21
ID 115504

【施設状況】

グループ名称	児童館・児童センター(豊野西部)										
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープながの						法人番号		7100005001506		
所管課	主	115500	こども政策課		副						
構成施設	3385	豊野西部児童センター									
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	事務室・集会室・給湯室・遊戯室・多目的トイレ・相談室・図書室・器具庫等										
施設設置目的	児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、また情操を豊かにすること										
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、設置目的を踏まえながら、子ども達が安心安全に遊べる拠点とするともに、地域の施設として地域に根ざした施設になることを目指す										
主な実施事業	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置、研修、自主事業の実施、地域との連携) 施設維持管理(建設物の保守管理、建設設備保守業務、清掃業務)										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープながの					当該指定管理者の 指定回数	5 回
指定期間	令和2年4月1日		～	令和7年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成19年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

No. 21

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
	児童センター	人	19,052	18,917	18,175	18,973	104%	
(特記事項) 当該センターを利用する対象小学校の児童数が減少傾向だった為利用数も減少していたが、今年度の1年生が増えたためセンターの利用数も増えた。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・指定児童センターの利用に関する事業 ・指定児童センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設、付属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・放課後子ども総合プラン事業の円滑な実施に必要な、かつ適切な措置に関する業務						
	自主事業	・七夕まつり・クリスマス会・お別れドッチボール大会・こども会議・避難訓練・支援員研修(zoom)・救命救急研修(救命救急指導員の保護者講師で)						
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・毎月お便りを発行して子ども達の様子を報告した。また、今後の活動予定、連絡等の周知を合わせて行った。 ・施設利用に関するアンケートを実施した。その内容や要望について検討し、回答を館内に掲示、各家庭に配布した。						

3

3 利用者評価

	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート		
利用者評価		(2) 調査、会議等の内容 【令和6年11月利用アンケート配布】 ・楽しく施設を利用しているか ・職員の保護者やお子さんへの接し方について ・センターに望むこと ・お子さんに関して心配なこと、不安に思っていること。地域で困っていること。		
		(3) 調査、会議等の結果 配布数94部(回収56部 回収率59.5%) ・楽しく利用している94.6% ・職員の接し方に特に問題がない98.2%		4
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 いただいた意見抜粋 ・いつも丁寧に見て下さるので助かります。望むことは、ありません。 ・迎えに来た親に対して余計な一言があると感じる時がある。普通に話して頂くのは問題ないのだが。 ・おやつがなくなってから大変になった。できるのなら、おやつを提供を復活させて欲しい。 ・職員を増やして欲しい。 ・土曜日利用が8時からできると安心です。(どうしても7時半には家に一人になってしまい、8時から開館までセンターの外で待っています。) ・朝早く仕事に行き、家に子どもだけでいる時間が長い為早めに開館してもらとうとありがたいが、就労証明書を提出する必要があるなど手続きが大変に思う		
		(2) 苦情・改善等の要望事項 いただいた意見抜粋 ・職員の募集をしても、応募者がいないのが課題です。募集方法を考えて行きたい。 ・保護者の皆さんと連携をとりながら、信頼を得られるように真摯に良い仕事に務めて行く。 ・安心安全で子ども達がホッとできる居場所になるように、児童センター運営に一層心がけて行く。 ・アンケート結果を運営委員会に報告するとともに、回答を館内に掲示、各家庭に配布した。		
		《対応措置》 ・職員の募集をしても、応募者がいないのが課題です。募集方法を考えて行きたい。 ・保護者の皆さんと連携をとりながら、信頼を得られるように真摯に良い仕事に務めて行く。 ・安心安全で子ども達がホッとできる居場所になるように、児童センター運営に一層心がけて行く。 ・アンケート結果を運営委員会に報告するとともに、回答を館内に掲示、各家庭に配布した。		

4 事業収支

No. 21

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
		指定管理料	5,127,312	指定管理料	5,127,312		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入			その他		その他		
	計	5,127,312	計	5,127,312		計	0	計	0	
支出	人件費	4,494,312	人件費	4,448,049	歳出	指定管理料	5,127,312	指定管理料	4,941,232	
	設備管理費		設備管理費			委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費			需用費		需用費		
	修繕費	67,000	修繕費	144,224		役務費		役務費		
	光熱水費	352,500	光熱水費	340,541		使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	48,000	事業費	48,000		修繕費		修繕費		
	事務経費		事務経費			工事請負費	699,600	工事請負費	1,366,200	
	本社経費	132,500	本社経費	132,500		備品購入費		備品購入費	210,320	
	その他	33,000	その他	33,000		その他		その他		
	計	5,127,312	計	5,146,314			計	5,826,912	計	6,517,752
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	0		-19,002		差引	-5,826,912		-6,517,752		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									86.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人、職員1人、補助員1人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

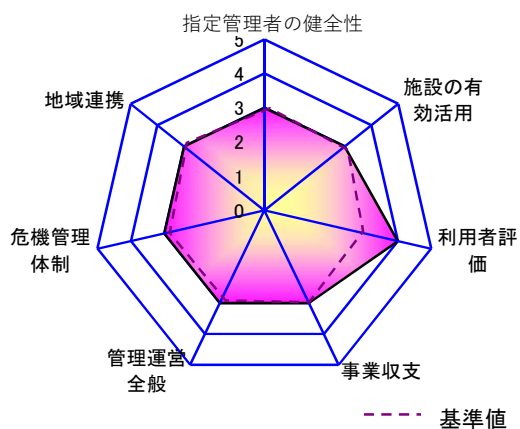
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	評価
地域連携	協定内容・指定管理者提案	3
	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・東西子どもプラザ・児童センター3館でミーティングを開き、共通課題について		

【総合評価】

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	6		
	利用者評価	4	16	64	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	3	6		
	評価理由	・地域に根差した児童センターとして子ども達、保護者から信頼を得られ、運営に関しても理解協力を得られた為、利用者評価を「4」にした。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
	・新型コロナウィルス感染症による、自主事業の縮小	・3年生主体でイベントを計画、実施した。	・自主事業をコロナ前の水準に戻すことはできなかった。		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・引き続き、児童の健全な遊びを通して、健康増進、情操を豊かにするために適切な職員配置を行いセンター運営に務める。				

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- (1) アンケートの実施
- (2) アドバイザー制度の活用
- (3) お便り毎月発行
- (4) 地域運営委員会の開催(年2回)
- (5) 希望児童の全員受け入れを行った。
- (6) 土曜日の利用で、他地区(3地区)の希望児童の受け入れを行った。
- (7) 今年度も280日開館をし、多くの児童を受け入れた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・業務の効率化・年度初めに3年生で子ども会議を開き、児童センターの決まりを決め子ども達の自主性・主体性を発揮できるように努めた。
- ・職員間の風通しを良くし、話し合いを第一に考え情報共有をしっかりと行った。(報告・連絡・相談)
- ・東西合同ミーティングを開催し情報共有し、課題解決に努めた。
- ・研修会(zoom)に積極的に参加し、自己研鑽に努めた。
- ・本部との連絡を密にし、連携をした。

③ その他

- ・感染症対策として手洗い・うがいに力を入れ、感染症予防に努めた。
- ・子ども達、保護者、職員同士、明るく元気に気持ちの良い挨拶をし合える環境づくりに努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・支援員(人材)確保に努めると共に、待遇改善を提案していきたい。
- ・各学校の担任の先生をはじめ、校長先生・教頭先生との情報共有・懇談は欠かせず、今後も定期協議を開催し、連携を図っていきたい。
- ・地域貢献活動を継続して行い、地域を応援する企画提案・実施していきたい。
- ・発達の課題等児童や保護者が抱える問題を検討、支援員のスキルアップの方策が課題と考え取り組んでいきたい

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・仕様書、基本協定及び事業計画に沿った管理運営や事業が行われた。

② 次年度以降の取組み

- ・地域住民や保護者、学校、運営委員会など全体でこども達を見守り、育て、地域との関わりを以て児童センター運営に取り組んでいきたい。
- ・子ども支援に関わる学習・研修にも積極的に参加し、スキルアップを行っていく。